

令和2年1月7日

## 「目黒日本大学中学校高等学校シェイクアウト訓練」の実施について

### 1 訓練の目的

- (1) 東日本大震災や熊本地震の発生を教訓として、災害時の避難経路及び避難場所の周知徹底を図り、災害時の基本的な動きを学ぶ。
- (2) 地震等災害による被害を最小限のものとするため、災害が発生した場合、生徒の避難誘導等の適切な緊急処置を講じる体制を整える。
- (3) 生徒が地震等による被害から自らの命を守るのに必要な事項についての理解を深め、安全な行動をとる能力や態度を養う機会とする。
- (4) 今回は授業中に大地震が発生したことを想定して、訓練を行う。

### 2 実施日時

令和3年 2月 17日(水) 午前 8時15分

### 3 主催

目黒日本大学中学校高等学校

### 4 協力

効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議（シェイクアウト提唱会議）

### 5 対象地域

目黒日本大学中学校高等学校

### 6 想定する参加者（個人・団体）

目黒日本大学中学校高等学校 在籍生徒、教職員

## 7 訓練想定（被害想定）

相模湾北西部を震源とするマグニチュード 7.9、最大震度 6 の地震

[その他の想定]

- ① 大地震が発生
- ② 余震・落下物及び火災発生等の危険がある
- ③ 電気・水道が使えない
- ④ 交通の状況を確認すると、鉄道は不通で回復の見込みが立たない、信号機が機能せず渋滞しているが、スクールバス・路線バスは利用できる
- ⑤ 待機場所に待機しつつ、下校可能な生徒から安全第一に下校させる
- ⑥ 園舎・中学校・高校の校舎については概ね安全であるものとする

## 8 訓練内容

事前：ホームルームにて事前指導を行う

[内容]

- ① 今後 30 年間で震度 6 以上の揺れに見舞われる確率が、関東地域の一部でも 80% 超と高い状態であることを生徒に理解させる。
- ② 速やかに命を守る 3 動作（Drop-Cover-Hold on）を実施する
  - 1 姿勢を低くする。
  - 2 頭・体を守る。
  - 3 揺れが収まるまでじっとしている。
- ③ 事前に地震や火災に対する備えについて説明する。
- ④ 避難経路の確認を行う（今年度は感染症予防のために避難は行わない）

安全確保行動：①～③の流れで実施する

- ① 地震を知らせる放送を入れる（放送：事務）
- ② Drop-Cover-Hold on を実施
  - 副担任が実施状況を確認し、学年主任に報告
  - 学年主任は教頭（危機管理委員長）に報告
- ③ 1 分後に「訓練終了」の合図を放送で入れる

事後：校長（不在の場合は教頭）から全校生徒に向けて総括を伝える

## 9 シェイクアウト+1 (プラスワン)

感染症対策を考え、今回は実施しないものとする

## 10 参加登録

(1) 登録期間 令和3年1月22日 ～ 2月13日 12時まで

(2) 参加登録方法

ホームページ

<https://www.meguro-nichidai.ed.jp/junior/>

<https://www.meguro-nichidai.ed.jp/senior/>

(訓練詳細が記載されたホームページ URL)

電話 03-3492-3388 窓口：徳田梨沙 (危機管理委員会)

(3) その他

- ・学校、企業、団体等による申込は担当者が代表して行います。
- ・学校、企業、団体等による申込のうち、許可が得られたものについては、目黒日本大学中学校高等学校ホームページに掲載します。

## 11 担当

目黒日本大学中学校高等学校 危機管理委員会

徳田 梨沙

〒153-0063

東京都目黒区目黒 1-6-15

電話番号 03-3492-3388

FAX 03-6417-9261

メール [risa.tokuda@meguro-nichidai.ed.jp](mailto:risa.tokuda@meguro-nichidai.ed.jp)